

実施過程	実施内容・要点	時間 60分	プレゼン	進行者の主な指示例・発問例	*留意点 【 】内は使用する資料名
はじめに	◎本校内研修の概略説明 ○ウォーミングアップ 1 研修のねらい (1) 教員(担任)と保護者及び保護者間の人間関係づくりの意義を理解する。 (2) 教員(担任)と保護者及び保護者間の人間関係づくりの手法を体験的に学ぶ。	3 2	1 [説明] <指示> 2 [説明] 2 [説明]	今日は「学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンター」について研修します。 <指示> 初めにウォーミングアップをしましょう。今朝は、何を食べてきましたか？ちなみに私は○○○を食べてきました。まずは、お近くの方と話してください。…今朝は何を食べてきましたか？このような内容の話でも、お隣同士、また皆さんと私とが一つの話題でつながることが出来ます。 教員(担任)と保護者は、お互いにつながりながら、協力し合って児童生徒を支援していく必要があります。すなわち、児童生徒本人への援助という点では、まず教員(担任)が保護者の協力を得られるかどうかが重要と言えるのではないのでしょうか？そこで教員(担任)が保護者に対して自己開示をすることで自分の思いなどを理解してもらうことが大切です。次に、保護者同士がお互いを知ることで児童生徒や教員(担任)支援のための横のつながりを持ってもらうことも大切です。そのためにはお互いを知る場を意図的に設定する必要があります。 今日の研修のねらいは「教員(担任)と保護者及び保護者間の人間関係づくりの意義を理解する」「教員(担任)と保護者及び保護者間の人間関係づくりの手法を体験的に学ぶ」ことです。	【テキスト資料】 *研修の目的を押さえて研修に入り、ゆっくりとていねいに説明する。具体的事例を入れるようにする。 *席は自由
I 説明	2 教員(担任)と保護者及び保護者間の関係づくりのねらいと意義 ・教員(担任)と保護者、保護者同士が「 つながり 」を深めること ・ 協力 し合って児童生徒を支援していく関係を築くこと 3 学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンター (1) 学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンターとは ・あたたかな関係になるためのもの →自己開示を大切にすること →和やかな雰囲気の中ですすめる (2) 進め方 ・導入→ウォーミングアップ→インストラクション→エクササイズ (3) 留意点 ・誰もが簡単にでき楽しく取り組めるものを行う ・短い時間で行える内容にする ・話をしてもいい程度の自己開示にする (4) 実施内容の決め方 ・学級・学年懇談会の前段→緊張をほぐすためのもの ・学級・学年懇談会の一部→つながりやすくなるためのもの (5) 実施内容の予告 ・構成的グループエンカウンターに参加しやすくなる (6) 実施上の配慮事項 ・保護者が参加しやすい環境づくり ・学級・学年懇談会が楽しくなるしかけづくり ・印象を良くするような出会いの場づくり ・ねざらいと承認のある場づくり	2 2 1 1 1 1 2	3 [説明] 4 [説明] 5 [説明] 6 [説明] 7 [説明] 8 [説明] 9 [説明]	教員(担任)と保護者および保護者間の人間関係づくりのねらいは、教員(担任)と保護者及び保護者同士が「 つながり 」を深めることです。それにより、教員(担任)の思いや願いを保護者に理解してもらいやすくなる、教員(担任)が保護者の願いや苦勞を理解しやすくなる、保護者同士が話しやすくなることが期待されます。すなわち、相手を知り、いい関係をつくることで、教員(担任)と保護者、保護者同士が 協力 し合って児童生徒を支援していく関係を築くことを目指します。 [説明] 具体的内容としては、学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンターを学びます。 [説明] 学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンターは、学級・学年懇談会での交流活動を通して、教員(担任)と保護者、保護者同士があたたかな関係になるためものです。自分の気持ちや考えなどを開示し、自然に話をするを大切にします。まずは教員(担任)が保護者に対して自己開示し、教員(担任)自身を知ってもらいます。教員(担任)が、実施するエクササイズや時間、グループ、その他約束事を決めて行います。学級・学年懇談会の趣旨や時間を考えると、学級・学年懇談会の始まりの部分では構成的グループエンカウンターを緊張をほぐすために活用したり、学年懇談会の一部として構成的グループエンカウンターを教員(担任)と保護者及び保護者同士がつながりをつくりやすくなるために実施したりすることが効果的です。そして、学級・学年懇談会が和やかな雰囲気の中で進められるようにします。 [説明] 進め方としては、簡単に内容を話してから、演習のためのウォーミングアップを行います。インストラクションではエクササイズの目的・内容を説明し、その後、エクササイズを実施します。 [説明] 学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンターは、留意点を3つ説明します。1つ目は「誰もが簡単にでき、楽しく取り組めるものを行う」です。2つ目は「短い時間で行える内容にする」です。3つ目は「自己開示は学級・学年懇談会で話をしてもいい程度の内容にする」です。 [説明] 実施内容の決め方について説明します。学級・学年懇談会の前段として活用する場合は緊張をほぐすために効果的なものを実施します。学級・学年懇談会の一部として活用する場合は教員(担任)と保護者および保護者同士がつながりやすくなるために効果的なものを実施します。保護者が、学級・学年懇談会に何を期待しているか、アンケートでニーズを探りながらエクササイズを選択します。 [説明] 実施内容の予告について説明します。「参加しやすい雰囲気づくりのために、保護者会の初めに簡単な活動を行います」「次回はお子さんの長所や最近がんばっていることを話していただきます」といった予告を、保護者会の案内状などに入れておいたりすると保護者は構成的グループエンカウンターに参加しやすくなります。 [説明] 実施上の配慮事項の1つ目は、保護者が参加しやすい環境をつくることです。具体的には、堅苦しいと思われない場の雰囲気や動けるスペースをつくります。2つ目は学級・学年懇談会が楽しくなるしかけをつくることです。誰もが簡単にできる内容のエクササイズを行うことが大切です。3つ目は印象を良くするような出会いの場をつくることです。はじめての出会いの堅い雰囲気を和らげることが大切です。4つ目はねざらいと承認のある場づくりをすることです。保護者も教員(担任)も、互いを認め合うところに協力が生まれます。ここからは実際に学級・学年懇談会で生かすグループエンカウンターを体験しましょう。	【テキスト資料】 *インストラクション…リーダーがエクササイズの目的、方法、留意点を教示すること *エクササイズ…心理面の発達を促す達成課題のこと *この場に応じた自己開示でよいことを伝える。
II 演習	4 学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンター演習 (1) 担任インタビュー！！(年度初めの学級・学年懇談会向き) (2) あなたは名探偵(年度初めの学級・学年懇談会向き) (3) つないで、つないで自己紹介(2回目以降の学級・学年懇談会向き) (4) わが子紹介(2回目以降の学級・学年懇談会向き) (5) さいころトーキング(2回目以降の学級・学年懇談会向き) ◇演習の振り返り	5 5 5 10 10	10 [説明] [説明] [説明] [説明] [説明] [説明] <指示> [説明]	ここからの演習は、年度初めの学級・学年懇談会で実施するエクササイズと2回目以降の学級・学年懇談会で実施するエクササイズに分けて行います。 「担任インタビュー！！」を行います。 ※詳細は演習進行案参照 「あなたは名探偵」 ※詳細は演習進行案参照(演習資料1を使用) 「つないで、つないで自己紹介」 ※詳細は演習進行案参照 「わが子紹介」 ※詳細は演習進行案参照(演習資料2を使用) 「さいころトーキング」 ※詳細は演習進行案参照(演習資料3を使用) <指示> ここで、全体で演習の振り返りを行いたいと思います。○○さんいかがだったでしょうか。(2～3人程度) [説明] 発表の感想にあったように、教員(担任)と保護者、保護者同士がつながることによりお互いが話しやすくなること、学級の雰囲気がよくなることを感じられたでしょうか。実際の学級・学年懇談会でも活用してみてください。	【演習資料1～3・演習進行案】 *進行者が演習も進め、研修者は保護者の立場で演習を行う。 *振り返りは、保護者の立場で演習を行ったことを生かしながら、教員の立場から話をさせる。
III まとめ	◎活動の振り返り ◎進行者のまとめ 教員(担任)と保護者、保護者間の「 つながり 」を深める 協力 し合って児童生徒を支援していく関係を築く	5	11 [説明] 12 (称賛)	それでは、校内研修のまとめです。学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンターによって、教員(担任)と保護者、保護者間の「 つながり 」が深まり、望ましい人間関係をつくる事が出来ます。それにより、教員(担任)の思いや願いを保護者に理解してもらうことができ、教員(担任)が保護者の願いや苦勞を理解することができます。また、保護者同士も親しくなります。結果的には、 協力 し合って児童生徒を支援していく関係を築くことができるようになります。 今日は、先生方の熱心な取り組みが大変印象に残りました。ありがとうございました。	【テキスト資料】 *参加者の実感を通して、教育相談的手法による教員(担任)と保護者、保護者同士の人間関係づくり、協力関係づくりが可能であることをまとめていく。 *研修を通して感じたことを共有させる。

「学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンター」

1 研修のねらい

- (1) 教員(担任)と保護者及び保護者間の人間関係づくりの意義を理解する。
- (2) 教員(担任)と保護者及び保護者間の人間関係づくりの手法を体験的に学ぶ。

2 教員(担任)と保護者及び保護者間の人間関係づくりのねらいと意義

教員(担任)と保護者、保護者同士が「**つながり**」を深めること。

- ・ 教員(担任)の思いや願いを保護者に理解してもらいやすくなる。
- ・ 教員(担任)が保護者の願いや苦勞を理解しやすくなる。
- ・ 保護者同士が話しやすくなる。



相手を知る、お互いにいい関係をつくることで、教員(担任)と保護者、保護者同士が**協力**し合
って児童生徒を支援していく関係を築くこと。

3 学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンター

(1) 構成的グループエンカウンターとは

- 「構成的」とは、教員(担任)が、実施するエクササイズ、時間、グループ、その他約束事を決めて行うことである。
- 「エンカウンター」とは、『心と心のふれあい、交流』である。
 - ・ 肯定的なあたたかい雰囲気を作るための開発的カウンセリング、サイコエジュケーション(心理教育)の一技法として学校や職場で広く普及しつつあるものである。



構成的グループエンカウンターでは、和やかな雰囲気の中で自分の気持ちや考えなどを開示し、自然に話ができるようにすることを大切にする。

(2) 進め方

導入 → ウォーミングアップ → インストラクション → エクササイズ

- ① 事前に簡単な内容の伝達をする。
- ② ウォーミングアップを行う。
- ③ エクササイズ※1の目的・内容を説明する。(インストラクション※2)
- ④ エクササイズを実施する。

※1 エクササイズ …… 心理面の発達を促す達成課題のこと (≠ゲーム)

※2 インストラクション …… リーダーがエクササイズの目的、方法、留意点を教示すること

(3) 留意点

- ① 誰もが簡単にでき、楽しく取り組めるものを行う。
- ② 短い時間で行える内容にする。
- ③ 自己開示は学級・学年懇談会で話をしてもいい程度の内容にする。

(4) 実施内容の決め方

- ① 学級・学年懇談会の前段として構成的グループエンカウンターを活用する場合
→ 緊張をほぐすために効果的なものを実施する。
 - ・ 雰囲気のを和ませることで保護者同士の発言を活発にし、自分から話題を提供する人が多くなるよう、誰もが簡単にでき、楽しく取り組めるものを行う。
 - ② 学級・学年懇談会の一部として構成的グループエンカウンターを活用する場合
→ 教員(担任)と保護者及び保護者同士がつながりやすくなるために効果的なものを実施する。
 - ・ 最初の保護者会では、リレーション(関係)づくりのためのゲーム的要素の強いものや軽く体を動かすものをショートエクササイズとして行う。
 - ・ 回を重ねるごとに、懇談会のテーマに合致したテーマスピーチなどを行う。
- ※ 保護者が、学級・学年懇談会に何を期待しているか、アンケートでニーズを探りながら、エクササイズを選択する。

(5) 実施内容の予告

- 「参加しやすい雰囲気づくりのために、保護者会の初めに簡単な活動をします」「次回はお子さんの長所や最近がんばっていることを話していただきます」と言った予告を、保護者会の案内状などに入れておくと参加しやすい。

(6) 実施上の配慮事項

- ① 保護者が参加しやすい環境づくり
～机や教室の配置…堅苦しいと思われない場の雰囲気づくりや動けるスペースづくり
 - ・ 机や椅子を保護者会モードに並べ替える。(コの字、ロの字、円形、扇形、椅子だけ)
 - ・ 音楽を流す。
 - ・ 保護者と教員(担任)の心理的な距離を縮めるために、教員(担任)も丸く並べた椅子の1つに座るなど
- ② 学級・学年懇談会が楽しくなるしかけづくり
～誰もが簡単にできる内容のエクササイズを行う。
 - ・ それぞれの人柄や子どもへの思いが伝わる。
 - ・ 何よりも楽しく取り組む中で和気あいあいとした雰囲気が生まれる。
- ③ 印象を良くするような出会いの場づくり
～はじめての出会いの硬い雰囲気を和らげる。
 - ・ 自己紹介エクササイズや多少ゲーム性の強いエクササイズを選ぶ。
- ④ ねぎらいと承認のある場づくり
～保護者も教員(担任)も、互いを認め合うところに協同が生まれる。
 - ・ 教員(担任)も保護者も共にねぎらい認め合うという思いで、担任はリーダー役を務める。

4 学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウターの演習

- (1) 担任インタビュー！！（年度初めに実施）
- (2) あなたは名探偵（年度初めに実施）
- (3) つないで、つないで自己紹介（2回目以降に実施）
- (4) わが子紹介（2回目以降に実施）
- (5) さいころトーキング（2回目以降に実施）

5 まとめ

学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウターを実施することによって、
教員(担任)と保護者、保護者間の「()」が深まり、望ましい人間関係をつくることができる。

↓

教員(担任)の思いや願いを保護者に理解してもらいやすくなる。

教員(担任)が保護者の願いや苦勞を理解しやすくなる。

保護者同士が話しやすくなる。

↓

() し合って児童生徒を支援していく関係を築くことができる。

あなたは名探偵一次の人を見つけよう！

子どもの学級 () 組
子どもの名前 ()

名前の書き方 (例：O組 福島 花子の母)
()

- 1 犬を飼っている ()
- 2 猫を飼っている ()
- 3 車の免許を持っている ()
- 4 調理師免許を持っている ()
- 5 釣りが好きである ()
- 6 園芸が好きである ()
- 7 スポーツが好きである ()
- 8 血液型はA型である ()
- 9 血液型はB型である ()
- 10 血液型はO型である ()
- 11 血液型はAB型である ()
- 12 朝食はご飯とみそ汁がいい ()
- 13 朝食はパンとコーヒーがいい ()
- 14 早起きが得意である ()
- 15 夜ふかしに強い ()
- 16 毎週欠かさず観ているテレビ番組がある ()
- 17 毎週欠かさず聴いているラジオ番組がある ()
- 18 愛読書がある ()
- 19 片付けや掃除が得意である ()
- 20 料理をつくるのが得意である ()
- 21 カラオケが得意である ()
- 22 将来の夢がある ()

「わが子紹介」

① わが子のいいところ

② わが子の好きな〇〇〇

③ わが子のがんばっている
ところ

④ その他、なんでも

「サイコロトーキング その①」

- 1 お子さんの好きな食べものについて教えてください
- 2 お子さんが最近ハマっていることを教えてください
- 3 お子さんのことで困っていること（くせ）を教えてください
- 4 お子さんの趣味（特技）を教えてください
- 5 お子さんの将来の夢を教えてください
- 6 【担任から】 → 学級（学年）の子どものいいところ

「サイコロトーキング その②」

- 1 自分の好きな食べものについて教えてください
- 2 自分が最近ハマっていることを教えてください
- 3 自分の苦手なことを教えてください
- 4 自分の趣味（特技）を教えてください
- 5 自分が今一番したいことを教えてください
- 6 【担任から】 → こんな学級（学年）にしたい

担任インタビュー！！

～担任自身を理解してもらう～

（年度初めの学級・学年懇談会向き）

〈準備物〉

- ・なし

- ・設定された座席配置を生かす。（特に椅子や机を移動する必要はない）
- ・椅子を円形にならべておくのもよい。

- ・保護者と教員（担任）が参加する。
- ・インストラクションとエクササイズで5分

インストラクション

- ・「このエクササイズは保護者が担任（私）について聞きたいことを自由に質問するエクササイズです」
- ・「このエクササイズのねらいは、『教員（担任）の思いや願いを保護者に理解していただくこと』です」



エクササイズ

- ・「少し時間をとります。教員（担任）への質問を考えてください」
- ・「一問一答の形で、教員（担任）が保護者のみなさんからの質問に順番に答えます」
- ・「保護者のみなさんは教員（担任）に関することで聞きたいことを自由に質問してください。教員（担任）は基本的にはどんな質問でも答えますが、話したくない内容については『ごめんなさい』と言います。その時は別の質問をしてください」
- ・「教員（担任）への質問は簡潔にしてください。保護者のみなさんへの応答も簡潔にします」
- ・「聞きたいことが先に聞かれてしまったら、違う内容にしたり、前の質問をさらに突っ込んで聞いたりするなど臨機応変に質問を変えてください」

実施上の留意点

- （1）教員（担任）が保護者に対して自己開示をし、「この先生は話しやすそうだ」という印象を持ってもらう。
- （2）自己開示は学級・学年懇談会で話をしてもいい程度の内容にする。

「あなたは名探偵」

～お互いに楽しく知り合う～

（年度初めの学級・学年懇談会向き）

〈準備物〉

- ・演習シート（あなたは名探偵用）
- ・筆記用具（保護者人数分）

・設定された座席配置を生かす。（特に椅子や机を移動する必要はない）

・保護者と教員（担任）が参加する。
・インストラクションとエクササイズで5分

インストラクション

- ・「このエクササイズはたくさんの人と楽しく交流するエクササイズです。また、学級・学年懇談会前の雰囲気づくりをするエクササイズです」
- ・「このエクササイズのねらいは、『保護者同士が楽しく知り合うこと』です」



エクササイズ

- ・「あなたは名探偵シートに、（お子さんの学級と）お子さんの名前を書いてください」
- ・「それでは、エクササイズのやり方を説明します。初めに、教室内を自由に歩き回り、相手を見つけて2人組になってください。次に、お互いに『こんにちは。（○組の）△△の母（父）です』と自己紹介して『あなたは名探偵演習シート』を交換します。相手のシートの項目の中から自分に当てはまるところを一つだけ選び、相手のシートの括弧内に例のように（○組）△△の母（父）と書いてください。書き終わったら相手に用紙を戻し、お礼を言って別れ、次の相手を見つけて同じように何度も繰り返していきます」
- ・「これを3分間続けます。できるだけ、たくさんの方とシートの交換ができるように、相手を見つけてどんどん行ってください」

実施上の留意点

- （1）「あなたは名探偵演習シート」の質問項目は実態に合わせアレンジを加え、保護者が答えやすい内容にする。
- （2）エクササイズが苦手な保護者がいる場合には、教員（担任や補助者）はその保護者に関わったり、保護者同士の出会いをつないだりする。

「つないで、つないで自己紹介」

～保護者をよ知る～

（2回目以降の学級・学年懇談会向き）

〈準備物〉

・なし

- ・椅子を円形やコの字にならべておく。
- ・5～6人組にならべておく。

- ・保護者が参加する。
- ・インストラクションとエクササイズで5分

インストラクション

- ・「このエクササイズはたくさんの人と楽しく交流しながら、子どもと関連づけてお互いを知り合うエクササイズです。また、学級・学年懇談会前の雰囲気づくりをするエクササイズです」
- ・「このエクササイズのねらいは、『保護者同士が話しやすくなること』です」



エクササイズ

- ・「輪になって着席し、最初に話す人を決めてください」
- ・「エクササイズの進め方を説明します。まず、最初に話す方が、子どもの趣味や好きなもの（こと）、得意なこと等と関連づけて『□□が好きな△△の母です』と自己紹介をします。一人の自己紹介が終わるたびにグループで拍手をしてください」
- ・「次の方は『□□が好きな△△さんのお母さん』のとなりの『■■■が得意な▲▲の父です』と前の方を紹介したあとに自己紹介をします」
- ・「3人目の方ならば『□□が好きな△△さんのお母さん』のとなりの『■■■が得意な▲▲さんのお父さん』のとなりの『◇◇が得意な▽▽の母です』というように、自己紹介をする方は自分より前に紹介を終えた方々をすべて紹介してから自己紹介してください」
- ・「グループのみなさんが無事に自己紹介し終えたら、みんなで盛大に拍手をしてください」

実施上の留意点

- （1）担任は輪に入らず、グループの様子を観察し、最後に感じたことを率直に話す。
- （2）グループが複数の時は担任を補助する人を加えるとよい。
- （3）つまづいている保護者がいる場合には、周りの人が教えてあげてよいことを事前に伝える。
- （4）途中で誰かがつまづいても担任（補助者）がうまくフォローしながら和やかに進行。

「わが子紹介」

～子どもの良さを伝え合う～

（2回目以降の学級・学年懇談会向き）

〈準備物〉

- ・演習シート（わが子紹介用）

- ・椅子を円形やコの字にならべておく。
- ・5～6人組にならべておく。

- ・保護者が参加する。
- ・インストラクションとエクササイズで5分

インストラクション

- ・「このエクササイズはそれぞれのお子さんの良さを伝え合ってもらうエクササイズです。また、お子さんと関連づけてお互いを知り合うエクササイズです」
- ・「このエクササイズのねらいは、『教員（担任）が保護者の願いや苦勞を保護者に教えていただくこと』、『保護者同士が話しやすくなること』です」



エクササイズ

- ・「輪になって着席し、最初に話す人を決めてください」
- ・「演習資料に書かれている項目をもとに『わが子紹介』を考えてください」
- ・「『△△の母親です』と言ってから『△△は野球が大好きで野球の練習には休まずに参加しています…』などと約30秒程度で簡潔に紹介してください」
- ・「お一人の紹介終了の度にみんなで拍手をし、順番に話をしていってください」

実施上の留意点

- （1）遠慮しないでわが子の良さを語ってもらう。
- （2）話しやすくなる雰囲気をつくりながら、エクササイズを進める。
- （3）「わが子のいいところは特にない」という保護者に対しては、「教員（担任）として△△さんの◎◎なところが素敵だと思います」と話をする。

「さいころトーク」

～保護者の願いを分かち合う～

（2回目以降の学級・学年懇談会向き）

〈準備物〉

- ・演習シート（サイコロトーク用）
- ・サイコロ（班数分）

・3～5人組になっておく。

・インストラクションとエクササイズで10分

インストラクション

- ・「このエクササイズはサイコロを振って出た目の数に書いてある項目について楽しみながら話をするエクササイズです。また、比較的気軽に話せる話題を通して、保護者間のリレーション（関係）づくりをするエクササイズです」
- ・「このエクササイズのねらいは、『教員（担任）の思いや願いを保護者に理解していただくこと』、『教員（担任）が保護者の願いや苦勞を教えていただくこと』、『保護者同士が話しやすくなること』です」



エクササイズ

- ・「輪になって着席し、最初に話す人を決めてください」
- ・「サイコロを振って出た目の数に書いてある項目について話してください」
- ・「話題はわが子の好きなことや困ったこと（くせ）、保護者のみなさんの趣味など、保護者のみなさんが比較的気軽に話せるものです」
- ・「次の方は同様にサイコロを振って出た目の数に書いてある項目について話してください」
- ・「『6』が出たグループでは担任がクラス（学年）のいいところやこんなクラス（学年）にしたいことを話します。『6』が出たら挙手をして担任を呼んでください」
- ・「初めはその①を行います」（「次にその②を行います」）

実施上の留意点

- （1）話したくない内容の目が出たら、「パス」と言ってサイコロを振り直していいことを伝える。
- （2）2巡目以降は同じ目が出たらサイコロを振り直すことを確認する。
- （3）聴く側は、話をしている人が話しやすいようにうなずきながら話を聴くように伝える。
- （4）時間終了までどんどん続ける。

〈参考文献一覧〉

- | | | |
|--------------------------|-----------|--------|
| ◇ エンカウンターで保護者会が変わる 小学校 | 國分康孝・國分久子 | 図書文化 |
| ◇ エンカウンターで保護者会が変わる 中学校 | 國分康孝・國分久子 | 図書文化 |
| ◇ 保護者会で使えるエンカウンター・エクササイズ | 高橋伸二・八巻寛治 | ほんの森出版 |
| ◇ 構成的グループエンカウンター事典 | 國分康孝 | 図書文化 |